

がんばろう 末崎！

館報まつば

第235号
平成26年6月20日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話(F兼) 29-2955

末崎の風土散策 (24)

～村誌の「脱走來」（戊辰の戦）について～ その2

小友村史

維新当時脱走兵北海道に落延びる落延るその際、本吉郡より渡海広田に到り東海岸を北行せり、到る所で掠奪を恣にし、我が村にても只出、谷地方面の白壁の土蔵は葦又は藁等を以てこれを覆ひ、辛うじてその難を免れたりと云う。

(脱走兵の通過)

末崎村誌

第1回目は明治2年1月17日、300余名の脱走兵が、本吉郡唐桑より広田に上陸し、大騒ぎとなつたが、末崎は通過だけで、細浦から大船渡笹崎に上陸し、盛方面に向かつた。

第2回目、同年1月20日、岡部伊三郎外総勢24名が細浦に来て、北海道に行く途中だと語り、金山沢、高橋（現徳子様方）等に泊まり旅費を請い、細浦の有志者はこれに醸出してやると喜び、金山沢から刀などを借り出発して行った。

第3回目はその後唐丹村の大石で引き返し、越喜来村崎浜の南部屋に寄り、更に綾里に渡り2月5日には末崎の赤土倉に上陸して、刀を抜き威嚇しながら西館に来て、乱暴を始めた次第であった。

以上のことから、これは明らかに戊辰の役（維新の戦）の脱走兵であり、鳥羽伏見の戦いに敗れ、上野に敗れ、会津の戦いに敗れて、最後の北海道の箱館（五稜郭）を目指して陸路を敗走中の敗残兵で、到る所で掠奪、狼藉をはたらき、難癖を付けて金品を巻き上げ、乱暴を恣にしたものと考えられる。その後彼等の行き先や結末は杳として、知るよしも無く、これも時の流れの中に姿を消してゆく物語りなのだろうか。

戊辰戦争とは慶應4年（1868）4月1日の鳥羽伏見の戦いから、明治2年（1869）5月の箱館戦争までの戦いをいうもので、慶應4年（1868）は干支で戊辰の年にあたるので、この名称が付けられている。（聖）

団地名	募集数	構造	入居開始時期
平林①	2世帯	RC3階	入居中 (9世帯入居中)
平林②	21世帯	RC4階	平成27年10月
泊里	1世帯	木造平屋	平成28年4月

受付：7月18日まで

受付・問い合わせ先：市役所の住宅公園課

市では、被災前にその地区に住んでいた世帯を優先し、入居希望者を募集する。末崎町内の公営住宅は表のとおり募集します。

災害公営住宅
入居希望者募集

船河原・平間 路線改良計画まとめ

防災集団移転事業 家屋新築工事進む

防災集団移転地に建築中 II 小細浦地区 II

たので 地権者 周辺関係者に地域毎に順次説明会を開催し理解と協力を得たいということです。

また、門之浜・碁石線についても、本測量が終わった区間にについて、地権者など関係者に説明会を開催する方向で日程などを検討中です。

が行われております。早い方には秋に入居できるようですね。

また、門之浜地区でも予定されていた18戸分が引き渡され新築に向けて基礎工事を始めるところもあり、来春には新しい団地が出来上がるのではないかと思われます。

町内に計画されている
防災集団移転事業が進み
小細浦地区（8戸）では、

お知らせ



<p>※ 参加希望者は 佐藤（29-2470）まで 申込ください。</p>	<p>お茶の教室 黒沢姫お迎作り</p>
<p>★デジタル公民館まつさきホームページに存じですか</p> <p>デジタル公民館まつさきの活動や末崎に関係した情報、ふるさとセンタ一の予約状況などが見られるHPご存じですか。</p> <p>一度ご覧ください。</p> <p>ました、末崎を離れて暮らしている親族・知人に紹介いただければ幸いで紹介します。「デジタル公民館まつさき」または、「館報下部に記載のURLで検索してみてください。</p>	<p>時 間 13時～16時 ふるせん</p>

◇デジタル公民館まつさき活動	
ホームページ作成勉強会	パソコンの使い方からインター ネットまで、お困りごとにスタッフが個別に解決まで対応します。また、ブログの使い方指導を行い、地域情報発信のお手伝いをします。
7月12日(土)	
13時30分～16時	
18時30分～21時	
◇地域の絆と防災・心と体の癒	防災専門講師と末崎地区消防団との意見交換・勉強会を行います。また、他地域の消防団の活動紹介や心と体のトレーニングを通じて、防災体质について考えます。

★ 震が関ナレッジスクエア
からのライブ映像 ◇ 美人古事記
～神楽笛と講談でお届けする～
日時 7月3日(木)
19時30分～
上演 こと
(篠笛・神楽笛奏者)
田辺銀治(講談師)
ふるセン 会議室